

<b>【科目名】</b> 地域福祉論		<b>【担当教員】</b> 林 正海							
<b>【授業区分】</b> 専門基礎 (社会福祉)		<b>【授業コード】</b> 2-13-0390-0-1		(メールアドレス) shinozaki@nur.ac.jp					
<b>【開講時期】</b> 4年 後期		<b>【選択必修】</b> 選択							
<b>【単位数】</b> 1 単位		<b>【コマ数】</b> 8 コマ							
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし  (受講のルールに関わる情報・予備知識) 遅刻・欠席する際は講義開始時までには必ず連絡を入れること。理由を教員に伝え、資料は教員からもらうこと。									
<b>【講義概要】</b> (目的) 地域福祉の基礎理論及び地域福祉の実践と運営に必要な知識と方法論について理解することを目的とする。  (方法) 地域福祉の基本的理念である人権尊重・自立支援・地域移行・社会的包摂について講義を行う。さらに、地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその推進方法についても講義を行う。									
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> 地域福祉の考え方について理解する。 地域福祉の各種理論と実践について理解する。 <b>【行動目標(SBO)】</b> 地域の捉え方について説明できる。 地域福祉に関わる専門職の役割について説明できる。詳細はオリエンテーション時に説明を行う。									
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 高内 正子、高井由起子 現代地域福祉論-地域と生活支援- 保育出版社、2013. ¥2,381									
<b>【参考書】</b> 特になし									
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 出席状況、遅刻・欠席時の連絡の有無及び定期試験で評定する。再試験は基本的に1回のみなので留意されたい。									
<b>【達成度評価】</b>		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		100							100点
評	取り込む力・知識	50							

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢	50							
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)					
1	オリエンテーション・地域福祉とは何か	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
2	地域福祉の歴史	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
3	地域福祉の枠組み	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
4	地域福祉推進のための技法	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
5	高齢者福祉領域を中心とした地域福祉の実際	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
6	障害者福祉領域を中心とした地域福祉の実際	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
7	子ども家庭福祉領域を中心とした地域福祉の実際	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					
8	これからの地域福祉の方向性と課題 -エンパワメント・ストレングス視点から-	講義	該当する章を音読。不明な単語の意味を調べる。	60					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。